



NO.25-17 2025年7月27日

<年間テーマ> 新しい歌を主に向かって歌え

<聖句>

詩編 100:1~3

全地よ、主に向かって喜びの叫びを上げよ。／喜び祝い、主に仕え、喜び歌って御前に進み出よ。／知れ、主こそ神であると。主はわたしたちを造られた。／わたしたちは主のもの、その主に養われる羊の群れ。

コリントの信徒への手紙Ⅱ 5:17

だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。

≪神戸教会は2025年に宣教開始75周年を迎えます。≫

「宣教開始75周年を覚えて②(1951~1965年の週報より)」

75周年委員会では、75年間の週報を10~15年ずつ区切って各委員が実際に読んで受け取ったこと、またこの一年の様々な企画を通して感じたことを月に一度、巻頭言で皆様に共有したいと思っています。

今回は1951~1965年の週報を取り上げます。(1950年の資料は残っていませんでした)まるで古文書のような手書きの週報を実際に1ページずつめくり、読んでみました。まずはこの資料が大切に保管され、手に取ることができることに感銘を受けます。大きな出来事としてはやはり、宣教開始(1950)、教会組織(1951)、会堂建築(1952)、光の丘幼稚園創設(1955)が挙げられます。週報にその文言が表されている度に「始まり」を感じ、多くの人の祈りと思いに触れることができ、胸が熱くなりました。大きな出来事はもちろんですが、その中で私の目に留まったのが1958年8月に郡博之牧師によって書かれた週報の文章です。一部要約して紹介します。「教会とは平凡な人々の集まりです。しかし平凡だけれども何か違うものがそこにはある。平凡さの中にあるシーンとしたものが貫いている。そういう人の集まりです。平凡さと特殊さの二つがいつも重なり合っているのが教会なのです。」75年という長い営みを支えたのはまさに「平凡さと特殊さ」なのでしょう。毎週行われる主日礼拝と人々の祈りの中に、神の力、聖霊の働きが貫かれていたことを改めて感じさせられます。まるでリレーのバトンのように当時の人々の思いや主の願いが受け渡され、現在に至っています。このバトンを次の未来につなぐ大切な「今」を過ごしている恵みに心より感謝いたします。【南原真生】

日本バプテスト連盟

神戸バプテスト教会

牧師 井形 英絵

主日礼拝

毎日曜日 午前10:30~11:45

共育のひろば

第1・2日曜日 午前11:45~12:40(成人クラスA・B・C)

第2・3・4日曜日 午前11:45~12:40(小学生クラス)

幼稚園C・S

日曜日 午前9:00~10:20(8月はお休みです)

ひまわりひろば

日曜日 午前9:00~10:20(8月はお休みです)

祈禱会

毎水曜日 午後19:00~20:15

教会についてのお問い合わせ、バプテスマの希望や他教会からの転入、またご相談のある方は牧師、又は教会事務局までご連絡ください。

〒650-0003 神戸市中央区山本通1-7-27 TEL078-231-7187 FAX078-221-5252

ホームページ:kobe-church.com

事務局Eメール:jimukyoku@kobe-church.com



祈りの課題

- 1、神戸開始バプテスト教会 2025 年度の福音宣教、諸活動のために。夏の間の主日礼拝や活動のために。
- 2、光の丘幼稚園園児・保護者・教職員のために。2025年度の保育のために。夏休み中の保育、園児の安全のために。
- 3、井形英絵牧師の働きと健康が守られますように。
- 4、能登半島豪雨・地震、宮崎地震、山形大雨災害、世界各地で被災された方々、支援にあたっておられる方々のために
- 5、イスラエル、パレスチナ、スーダン、ミャンマー、アフガニスタン、ウクライナとロシアなど紛争と戦争の只中にある方々の命が守られますように。すべての人々のいのちが尊重される自由と平和が実現しますように
- 6、ミャンマー・タイ、台湾地震、モロッコ、リビアの災害、トルコ・シリア大地震など自然災害で被災された方々の命と日々の生活が守られますように。
- 7、子どもたちの心と体の成長が守られますように。KCK ユースキャンプ(7/31-8/2 名古屋)のために
- 8、病の中にある方、療養中の方、その方々を支えておられるご家族のために。
- 9、困難の中にいる方々と共に生きるすべてのキリスト教会と信徒の信仰生活の守りのために。
- 10、新会堂建築計画の導き。会堂建築委員会の働きのために。
- 11、これからの神戸教会のために。教会員が共に語り合い、主の御心を求めることができますように

【連盟・連合・他教会の祈り】

- ◆日本バプテスト連盟の全国311の教会・伝道所のために。加盟教会間の協力伝道が豊かに展開されますように。
- ◆関西地方教会連合の34教会のために。無牧師教会を覚えて。

交読 詩編 32 編 1-11 「罪の告白」

いかに幸いなことでしよう、背きを赦され、罪を覆っていた者がは。

いかに幸いなことでしよう、主に咎を数えられず、心に欺きのない人は。

わたしは黙し続けて、絶え間ない呻きに骨まで朽ち果てました。

御手は昼も夜もわたしのの上に重く、わたしの力は、

夏の日照りにあって衰え果てました。

わたしは罪をあなたに示し、咎を隠しませんでした。

わたしは言いました、「主にわたしの背きを告白しよう」と。

そのとき、あなたはわたしの罪と過ちを、赦してくださいました。

あなたの慈しみに生きる人は皆、あなたを見いださうる間に

あなたに祈ります。

大水が溢れ流れるときにも、その人に及ぶことは決してありません。

あなたはわたしの隠れが。苦難から守ってくださいる方。

救いの喜びをもって、わたしを囲んでくださる方。

わたしはあなたを目覚めさせ、行くべき道を教えよう。あなたの上に目を注ぎ

勧めを与えよう。

分別のない馬やらばのようにふるまうな。それはくつわと手綱で

動きを抑えねばならない。そのようなものをあなたに近づけるな。

神に逆らう者は悩みが多く、主に信頼する者は慈しみに囲まれる。

神に従う人よ、主によって喜び躍れ。

(二) 同 すべて心の正しい人よ、喜びの声をあげよ。